

ベルフォート・アカデミーオブビューティ

自己評価報告書

(平成30年度)

学校法人まこと学園

ベルフォート・アカデミーオブビューティ

1.学校の教育目標

【校訓】

至誠一貫

【教育目標】

- ①学生一人一人に目を向けた教育に努め、学生は学習を通して成功体験を積み重ねることができる。
- ②プロに一番近い即戦力を身につけた、将来の美容業界を担う人材を育成する。
- ③国家試験合格、就職率100%。
- ④美容を通して喜びを伝えることができ、社会から必要とされる人間を育成する。
- ⑤美の最先端の技術、サービス、マナーを身につけた海外でも活躍でき、お客様から愛されるスペシャリストを育成する。

評価基準

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(1)教育理念・目標

評価項目	自己評価
○学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4
○学校における職業教育の特色は何か。	3
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。	3
○学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。	3
○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

①課題

具体的な将来像が見えにくい。

②今後の改善方策

人員計画や学生募集計画等を踏まえた長期経営計画のもと、将来像を明確にしていく。

(2)学校運営

評価項目	自己評価
○目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3
○運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
○人事・給与に関する規程等は整備されているか。	3
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
○教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

①課題

規程の整備はされているが、時代に即した定期的な見直しが必要でないか。

②今後の改善方策

長期経営計画を明確にし、資金の確保を確実にやっていく。

(3)教育活動

評価項目	自己評価
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3
○学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3
○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3
○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3
○関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3
○授業評価の実施・評価体制はあるか。	3
○職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3
○成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3
○資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3
○人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3
○関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
○関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	3
○職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3

①課題

カリキュラムや成績表など学生評価基準などは、全体的な見直しが必要ではないか。
シラバスの活用。

②今後の改善方策

教職員の外部研修の機会を増やし、教育課程編成を体系的に学び直す。
パソコンなどを活用した授業展開。

(4)学習成果

評価項目	自己評価
○就職率の向上が図られているか。	3
○資格取得率の向上が図られているか。	3
○退学率の低減が図られているか。	3
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2

①課題

国家試験合格率。退学者を減らすための方策。担任教員の負担の軽減。

国家試験対策チームなどを立ち上げ、安定した合格率を出せる仕組みを作る。
スクールカウンセラー等専門家を置くことも検討。

(5)学生支援

評価項目	自己評価
○進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3
○学生相談に関する体制は整備されているか。	3
○学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3
○学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
○課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3
○学生の生活環境への支援は行われているか。	3
○保護者と適切に連携しているか。	3
○卒業生への支援体制はあるか。	2
○社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3
○高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	2

①課題

保護者、学生のニーズにこたえられていない面がある。

②今後の改善方策

ダブル担任制など、教員の負担軽減策を取る。保護者が安心して相談できる環境を整備する。

(6)教育環境

評価項目	自己評価
○施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2
○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3
○防災に対する体制は整備されているか。	2

①課題

教材の不足や防災意識。

②今後の改善方策

物を大切にすることの教育をしっかりとる。
防災対策として、在校時に災害が発生した場合の避難場所の確認と保護者への周知。備蓄。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	自己評価
○学生募集活動は、適正に行われているか。	4
○学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3
○学納金は妥当なものとなっているか。	3

①課題

学生募集時と入学後のギャップを感じている学生や保護者がいらっしゃることへの対応。

②今後の改善方策

保護者アンケートや学生アンケートの内容の見直しと、改善すべき点の優先順位を付ける。
保護者や学生に対し、教育理念や指導方針を丁寧に説明していく。

(8)財務

評価項目	自己評価
○長中期的な学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3
○財務について会計監査が適正に行われているか。	3
○財務情報公開の体制整備はできているか。	2

①課題

学生の確保。

②今後の改善方策

少子化に対応した長中期的、具体的な学生募集計画の作成と、長中期的経営計画の作成と定期的かつ細やかな見直し。

(9)法令等の遵守

評価項目	自己評価
○法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。	3
○個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	3
○自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3
○自己評価結果を公開しているか。	3

①課題

所轄官庁への届出の遅延が見られた。

②今後の改善方策

届出時期の再確認。

2018年12月7日

ベルフォート・アカデミーオブビューティ
2018年度学校関係者評価報告書

学校法人まこと学園
総合美容専門学校
ベルフォート・アカデミーオブビューティ
学校長 長尾 拓朗

学校法人まこと学園 総合美容専門学校ベルフォート・アカデミーオブビューティにおける2018年度の自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を実施いたしましたので、その内容について以下の通り報告いたします。

1. 開催日時 2018年12月7日(金) 13:00~14:00
2. 開催場所 ベルフォート・アカデミーオブビューティ校内
3. 出席者

学校関係者評価委員	所属名	役職名
野々村 剛	株式会社野々村美容商事	代表取締役社長
山本 照保	山本株式会社	取締役会長
山本 敏裕	セントラルアモード 職業訓練会	会長

学校教員・事務局	役職名
長尾 拓朗	学校長
久世 昇	副校長
岩崎 恵美子	職員

4. 会次第
 1. 開会宣言
 2. 資料の確認
 3. 学校長挨拶
 4. 委員の紹介
 5. 学内施設見学
 6. 自己評価結果報告

7. 意見交換

8. 閉会宣言

5. 意見交換・評価結果

①学校内の掲示（就職関係・学校行事関係）や授業見学を行った。

②国家試験に向けた学校の取り組みや学生の様子などについて報告を行った。

③評価項目ごとに評価委員による審査を行った。

(1) 教育理念・目標・・・評価結果：3

(2) 学校運営・・・・・・・・・・評価結果：3

(3) 教育活動・・・・・・・・・・評価結果：3

(4) 学習成果・・・・・・・・・・評価結果：3

(5) 学生支援・・・・・・・・・・評価結果：3

(6) 教育環境・・・・・・・・・・評価結果：3

(7) 学生の受入れ募集・・・評価結果：4

(8) 財務・・・・・・・・・・評価結果：3

(9) 法令等の遵守・・・・・・・・評価結果：3

【意見】

(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営

(野々村委員)

学校の将来像、学生の将来像などは学校の健全な経営が長期的になされる前提でないと描けるものではない。そのためには安定した学生募集が不可欠だが、対外的にアピールできるポイントはどこなのか。たとえば国家試験合格率、卒業生が就職先で長く勤めている、戦力になる、など、高校にだけでなくサロンに対しても主張できる強みを持つことが重要ではないか。

(山本照保委員)

今春の国家試験合格率が低かった点について、徹底的に問題点を洗い出しひとつずつ解決していつているのか。

(学校)

国家試験については、教員間で問題点を精査し、一つずつ見直しを行った。また対策プロジェクトの立ち上げ、学生の決起集会など学生の意識を高め支援するための新しい試みを始めている。

また学校の健全な経営のために長期経営計画を明確にしていく。

(3) 教育活動 (4) 学生支援

(山本委員)

退学者はどれぐらいいるのか、また退学の主な理由について。

(学校)

退学者は開校からの平均でみると2割強。ここ数年では2割弱となっている。理由は入学後の進路変更(思い描いていたものと違ったなど)やメンタルな部分での問題などがあげられる。また少人数制といいながらなかなか全員に目を配れない状況もあり、教員も悩んでいる。できない子に重きをおくとできる子に目が行き届かなくなる。

(山本委員)

職業(進路)変更の場合は、何ともしがたい部分はある。美容師の地位を高めていけるよう業界の努力も必要。

全員に目を配るとするのは非常に難しい。サロンでも能力に個人差がある。

(学校)

出来る限り学生に関わる教員を増やし、よりきめ細かい指導をしていく。また先日実施した保護者参観なども半数以上が参加するクラスもあるなど、学校や子どもの将来について心配されている保護者も多い。参加いただいた保護者の方からは非常に良い感想をいただいているので、今後もより多くの保護者の方が参加できるように進めていきたい。できる限り保護者の方が安心して相談できる環境を整備していき、退学者の数を減らす努力をしていく。

(野々村委員)

他の専門学校とも意見交換できる環境があると良い。

(6) 教育環境

(山本委員)

避難訓練など定期的にも実施すること。

(学校)

設備の定期的な点検と緊急避難場所の保護者への周知徹底などを行っていく。

(7) 学生募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守

特になし。